

環境基準の改訂

昭和44年 7月

和歌川の一部に水質保全法の地域指定

昭和45年 9月

和歌川水域について水質汚濁に係る
環境基準の水域類型の指定

昭和49年10月

有本川、大門川、真田堀川、市堀川に
環境基準の類型指定

目標水質 (S45年9月)

河川名	類型	達成期間	BOD75%値	環境基準地点
和歌川	E	「八」	1.0mg/l以下	海草橋

目標水質 (S49年10月)

河川名	類型	達成期間	BOD75%値	環境基準地点
有本川	E	「八」	1.0mg/l以下	若宮橋
大門川	E	「八」	1.0mg/l以下	伊勢橋
真田堀川	E	「八」	1.0mg/l以下	甫斉橋
市堀川	E	「八」	1.0mg/l以下	住吉橋

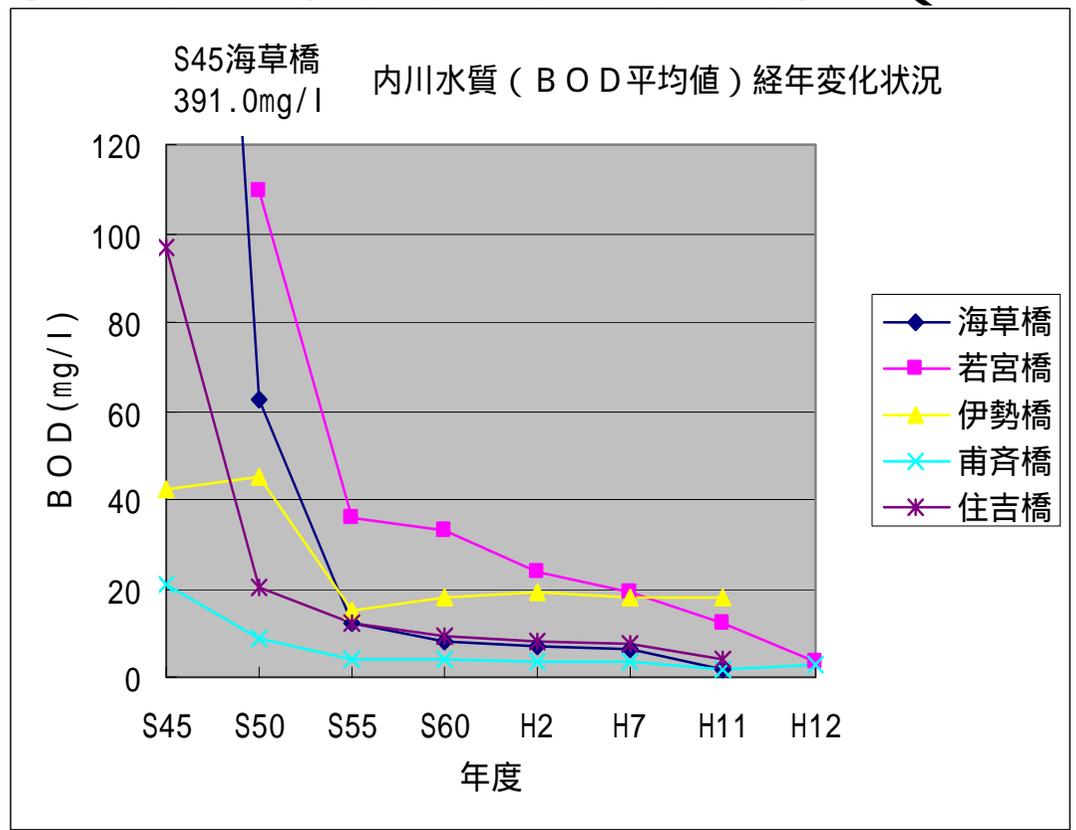


和歌川等の水質改善状況を踏まえ、平成11年環境基準類型及び達成期間の改訂が行われました。

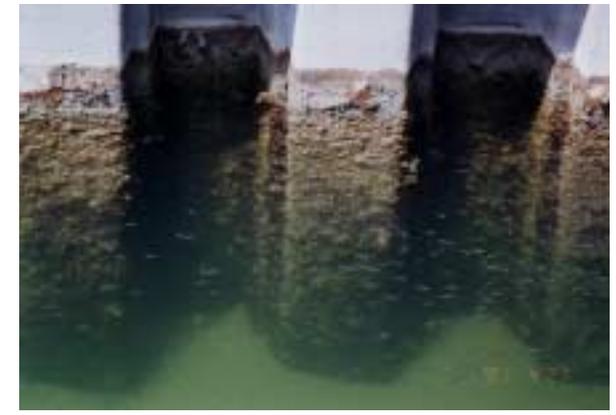
目標水質 (H11.4.9)

河川名	類型	達成期間	BOD75%値	環境基準地点
有本川	C	「口」	5mg/l以下	若宮橋
大門川	C	「口」	5mg/l以下	伊勢橋
真田堀川	C	「イ」	5mg/l以下	甫斉橋
市堀川	C	「口」	5mg/l以下	住吉橋
和歌川	B	「イ」	3mg/l以下	海草橋

内川の水質の経年変化（BOD平均値）



導水時の有本川
(平成13年4月撮影)



平成12年度からの導水により有本川の環境基準地点若宮橋のBOD75%値は4.7mg/lで、環境基準を満足している。

内川水質（BOD平均値）経年変化状況表

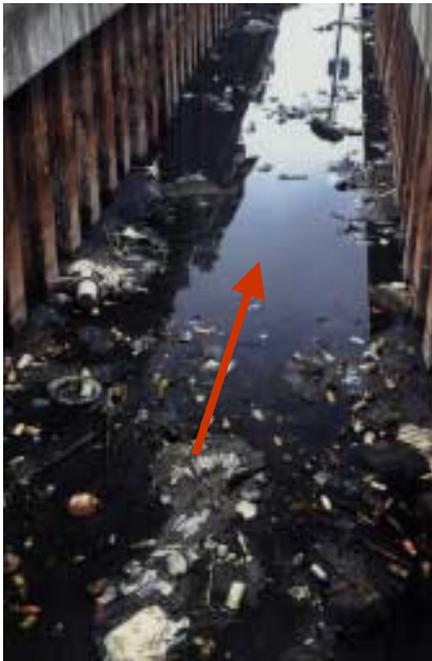
河川名	環境基準地点	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H11	H12
和歌川	海草橋	391.0	62.4	12.0	8.4	6.9	6.3	2.0	2.0
有本川	若宮橋		109.7	36.0	33.0	23.6	19.0	12.0	3.5
大門川	伊勢橋	42.5	45.0	15.0	18.0	19.2	17.8	18.0	
真田堀川	甫斉橋	21.0	8.6	4.3	3.8	3.2	3.7	2.0	2.9
市堀川	住吉橋	96.6	20.1	12.0	9.0	7.9	7.3	4.3	

* : H12は国土交通省測定数値 他は和歌山県環境白書抜粋
H12より有本川に浄化用水導入開始

有本川の水質

平成12年度からの導水により、環境基準地点若宮橋のBOD75%値は4.7mg/lで、環境基準を満足しています。

導水前



導水後



B O D 7 5 % 値	
年度	若宮橋
H 6	19
H 7	25
H 8	23
H 9	18
H 1 0	15
H 1 1	16
H 1 2	4.7

(B O D : mg / l)

* : H 1 2 は国土交通省測定数値
他は和歌山県環境白書抜粋

大門川の水質

大門川の水質は悪く、早期の改善が望まれます。

大門川環境基準点
伊勢橋の水質

伊勢橋 (BOD mg/l)		
年度	75%値	平均値
H6	11	10.6
H7	24	17.8
H8	24	18.0
H9	25	17.8
H10	14	12.9
H11	19	18.0



大門川(新興橋から下流)

有本揚排水機場の目的

宇治取水場の老朽化による代替え施設

(真田堀川への浄化用水導入 有本川経由)

(高水敷に建設されている宇治取水場の撤去)

有本川への浄化用水の導水

大門川への浄化用水の導水

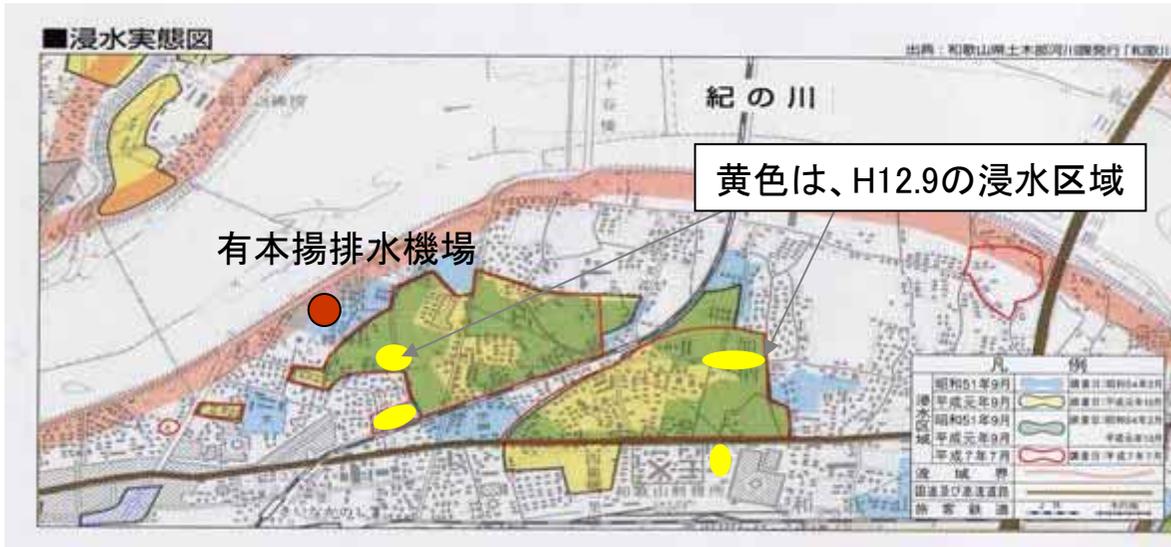
有本地区の内水対策

有本揚排水機場の内水対策

有本揚排水機場では、毎秒 20 m³を自然排水でき、紀の川の水位が高く自然に排水できない場合は、ポンプにより毎秒 4 m³の排水ができます。



有本地区の浸水実績



洪水名	要因	総雨量	床下浸水
平成元年9月3日	大雨	316mm	326戸
平成5年8月22日	大雨	—	22戸
平成7年7月4日	大雨	262mm	100戸
平成12年9月11日	台風14号	426mm	18戸

↑ 既往洪水での浸水被害(総雨量：気象庁和歌山雨量観測所の値)

平成12年9月11日からの降雨が過去30年間で最大でしたが、和歌山市災害対策本部調べによれば、四箇郷地区で床下浸水が18戸でした。

過去の浸水に比べ浸水家屋数が少なかったのは、有本川の改修工事や有本揚排水機場の効果によるものです。